

那須烏山市の観光案内板のリニューアル化についての検討

足利工業大学 工学部 都市環境工学科
福島研究室(土木史研究室)
草間泰彦 増田朋也

1 研究の背景・目的

現在、地方都市の活性化方策として、地域の個性を活かしたまちづくりが模索されており、地域資源を活用した取り組みが試行されています。そこで、本研究では、活動の一つの具体化として栃木県那須烏山市(旧烏山町地区)のJR烏山駅前に設置されている観光案内板のリニューアルに伴う調査・分析を行うとともに、新たな視点から観光案内板の記載内容およびデザイン等の検討、さらに今後の課題について考察することを目的としました。

2 観光資源調査および現観光案内板等の分析

検討する対象地域を旧烏山町エリアとしました。次に、当該エリアの観光資源調査として、現観光案内板および市や観光協会等で発行している観光パンフレット3種に記載されている施設・資源合わせて50件について、付帯設備・観光資源としての評価について調査を行いました。調査結果は本研究で作成したデータシートを用いて、右図に示す項目・内容についてまとめました。

資源名: 龍門の滝	
所在地	那須烏山市滝414
資源の分類	歴史系(環境系自然系、観光系、その他)
1. 駐車場	37台
2. 烏山駅からの距離	徒歩45分、車で8分(約3.6km)
3. トイレ	男子トイレ(和式1、手洗い場1、鏡1) 女子トイレ(和式2、手洗い場1、鏡1)
4. ベンチ(椅子)	ベンチ(木製5台、橋木2台)イス(橋木3脚)
5. テーブル(机)	橋木2台
6. 手すり	木の部分と橋木の部分がある
7. 階段	130段(石段87、木段43)
8. スロープ	
9. 水のみ場	1ヶ所
10. 誘導路	あり
11. 照明	3方向照明(6個)1方向照明(3個)足元の照明(16個) 11月12月は滝がライトアップ
II. 案内板	龍門の滝周辺案内板(案内板、解説板) 河川環境整備工事江川筋烏山滝敷地内 道案内板
III. その他	家族連れが多い 来訪の方にとっては観光の目的 子供の遊び場になっている 滝の迫力がすごい 滝の高さ20m・幅65m 自然景観、観光資源 大蛇が住むという伝説がある

資源の分類

設備11項目

案内板の有無形態

特記事項

3 観光案内板リニューアル化の検討

これまでの調査・分析を踏まえて、3つの基本方針を設定しました。

- ①単に「見学する」「訪れる」という行為に止めず、一步踏み込んで「感動する」「体験する」といったアクティビティの提供まで高める。
- ②資源の性格・意義に応じてグループ化し、分かり易い配置構成とする。
- ③デザインに創意工夫を加え、興味を惹く構成とする。

基本方針①・②に従い、グループ핑と位置づけを検討しました。

＜感動体験Ⅰ. 地域史学習＞

1. 近代化遺産

近代化遺産は現在の文化の基盤となる資源。今回リニューアル案の目玉として位置づけました。

2. 近世以前の歴史遺産

城下町・商人町烏山の成り立ちを今に伝える資源。

＜感動体験Ⅱ. 自然・環境・景観＞

3. フィットネス&ヘルス

現在の観光の新しい潮流。エリア内の資源は子どもから高齢者まで年代に応じた利用が可能な資源。

4. 自然景観・文化景観

もう1つの潮流であるグリーンツーリズムを意図して、自然美と人工美が織りなす景観はまさに感動体験を呼び起こすに足る資源。

＜感動体験Ⅲ. 文化・芸術体験＞

5. 伝統文化

国の文化財に指定されている烏山和紙と重要無形民俗文化財に指定されている「山あげ祭」の関連資源。

6. 陶芸&ギャラリー

陶芸体験には多くの嗜好者が存在します。ギャラリー巡りも同様でありエリア内には個性と魅力的な窯元とギャラリーがあり、新たな魅力として位置づけました。

＜感動体験Ⅳ. 味覚・収穫体験＞

7. 観光果樹園 8. アグリセンター 9. 観光やな

この3つはアグリツーリズムとしての位置づけです。特に、「中山かぼちゃ」や「ハタケシメジ」などは地元では知られていますがこれを県レベル、全国レベルを目標として発信していくことが肝要です。市民・来訪者に対する安心安全な地場産食材の提供は地域の大きな魅力でもあります。

＜情報発信・案内拠点＞

- (1)市役所(商工観光課)
- (2)島崎酒造
- (3)山あげ会館
- (4)萬サロン

＜感動・体験Ⅰ. 地域史学習＞

1. 近代化遺産

- (5)境橋
- (6)烏山和紙会館(旧烏山病院)
- (7)烏山駅舎
- (8)防空監視哨
- (9)神長砲弾貯蔵坑
- (10)烏山通運石造り倉庫
- (11)旧烏山学館
- (12)旧烏山実践女学校講堂
- (13)森田トンネル
- (14)東京動力機械製造株式会社地下工場跡

2. 近世以前の歴史遺産

- (15)稻積城跡&稻積神社
- (16)森田城跡
- (17)烏山城跡・裏門&寿龜山神社
- (18)天性寺
- (19)耕便門

＜感動・体験Ⅱ. 自然・環境・景観＞

3. フィットネス&ヘルス

- (20)清水川せせらぎ公園
- (21)大桶運動公園
- (22)ハンクライダー・パラグライダー発着場
- (23)やまびこ温泉&わらび荘
- (24)宮原キャンプ場
- (25)サンライズ園見

4. 自然景観・文化景観

- (26)龍門の滝 & 太平寺
- (27)国見の棚田
- (28)花立峠
- (29)橋屋敷
- (30)烏山藩大久保家住宅庭園

＜感動・体験Ⅲ. 文化・芸術体験＞

5. 伝統文化

- (31)烏山和紙会館
- (32)和紙の里
- (33)宮原八幡宮
- (34)山あげ会館
- (35)山あげ烏草館
- (36)八雲神社

6. 陶芸&ギャラリー

- (37)俱門窯
- (38)小原沢窯
- (39)汀窯
- (40)工房LUBA
- (41)萬サロン
- (42)ギャラリーアートれい
- (43)ギャラリーここ侶
- (44)アトリエ野バラ

＜感動・体験Ⅳ. 味覚・収穫体験＞

7. 観光果樹園

- (45)観光くり園
- (46)観光ぶどう園
- (47)国見みかん園
- (48)観光りんご園

8. アグリセンター

- (49)大桶農産物直売所
- (50)興野農産物直売所
- (51)滝ふれあい青果直売所
- (52)とりたて野菜直売所
- (53)やまびこの湯直売所

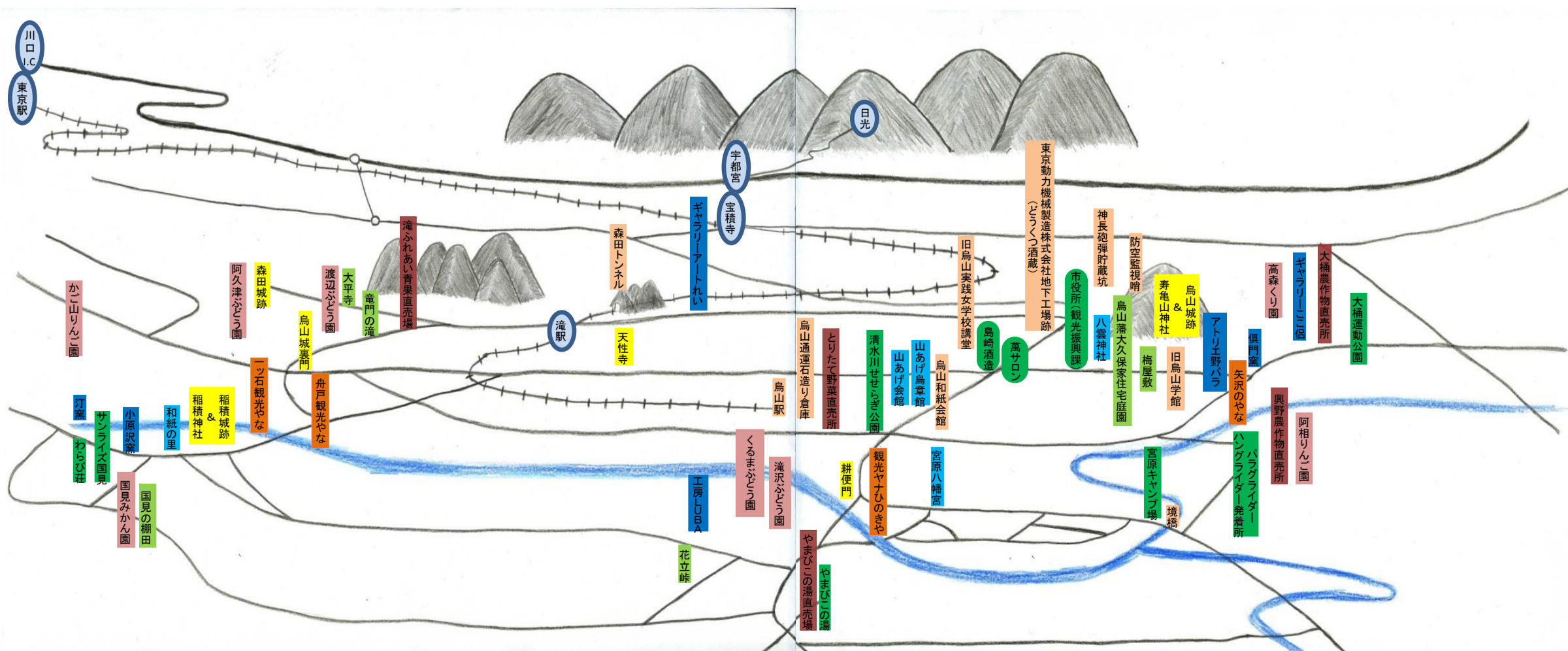
9. 観光やな

- (54)矢沢のやな
- (55)舟戸観光やな
- (56)観光やな ひのきや
- (57)ツツ石観光やな

4 新規観光案内板のデザインの検討

基本方針③に基き、新しい案内板の全体構成を江戸期から近代にかけて時代を風靡した『鳥瞰図』をモチーフとしました。また、色彩による分類配置とすることで“分かりやすさ”・“美観”の確保を企図しました。

感動・体験!!からすやま観光マップ



5 まとめ

- (1) 新たな観光資源として近代化遺産や景観など、多視点から資源の抽出を行なうことができました。
- (2) 観光案内板としてコンセプトを明確にする中で、志向性・年代層への対応ができるマップの作成ができました。
- (3) 『鳥瞰図』という技法は目標物がデフォルメされ、理解の向上に結びつきます。歴史的アピールとともに“観る楽しみ”も増えるものと考えられます。
- (4) 今後は『感動』『体験』の具体的なプログラムの検討が必要です。